



あとむ

姫路科学館友の会会報 第184号〈2023年5月〉(友の会事務局発行)

2023年度 姫路科学館友の会入会速度、昨年度の1,5倍

周りの緑は見る見る間に濃く、事務所横の巣箱ではヤマガラの雛が今年も無事に巣立ち、はちきれそうな生命力に日々圧倒されっ放しです。

いつも友の会をご活用くださり有り難うございます。コロナの規制が緩和されたこともあり、お陰さまで現在約130会員さまにご入会頂いております。本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

(友の会会長 上田倫範)

❀ 花の歳時記「テイカカズラ」(キョウチクトウ科)

本州から九州の林などに自生する常緑つる性木本です。葉は対生し、濃い緑色をしていて、秋に美しく紅葉します。5月中旬から6月中旬にかけて、枝先や上部の葉腋にキョウチクトウの花を小さくしたような白色の花をまばらに咲かせます。花にはジャスミンに似た甘い香りがあります。咲き進むと花はクリーム色に変化します。



この花の名前は、式子内親王を愛した藤原定家が、死後も彼女を忘れられず、葛に生まれ変わって彼女の墓に絡みついたという伝説に由来します。

(友の会理事 古角孝之)

❀ 館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和5年4月

令和5年度が始まりました。新型コロナ対策も自主的な感染対策の取組に変更され、コロナ前の状態に戻りつつあります。入館者も昨年度は例年の8割、約19万人もの方々に訪れて頂き、誠にありがとうございました。今年度は開館30周年記念事業としてイベントや各種講座・教室等の開催も更に充実した内容で実施していきます。今春定年退職で大黒柱のベテラン職員や鳥の専門家が科学館を去りましたが、新職員も加わり新たに結束を固めて、理念である創造性豊かな青少年の育成を図るため、より楽しく学べる科学館になるよう、新体制でスタッフ一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

【目次】

- P1 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)
館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)
- P2 ヤマガラ通信(元姫路科学館専門員・西播愛鳥会 森田俊司)
- P3 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)
- P4 「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)
南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博)
- P5 Starry Night Story(姫路科学館 中島輝久)
- P6 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当 松本万尋)、よしだ君の話(吉田航希)